あなたのふるさと納税で「行きたい」を「行けた！」へ

あきらめていた外出を もう一度。

GREEN×EXPO2027 から始まる移動支援



目標金額

4,000,000 円

受付期間

2026 年

10/5 ▸ 12/31

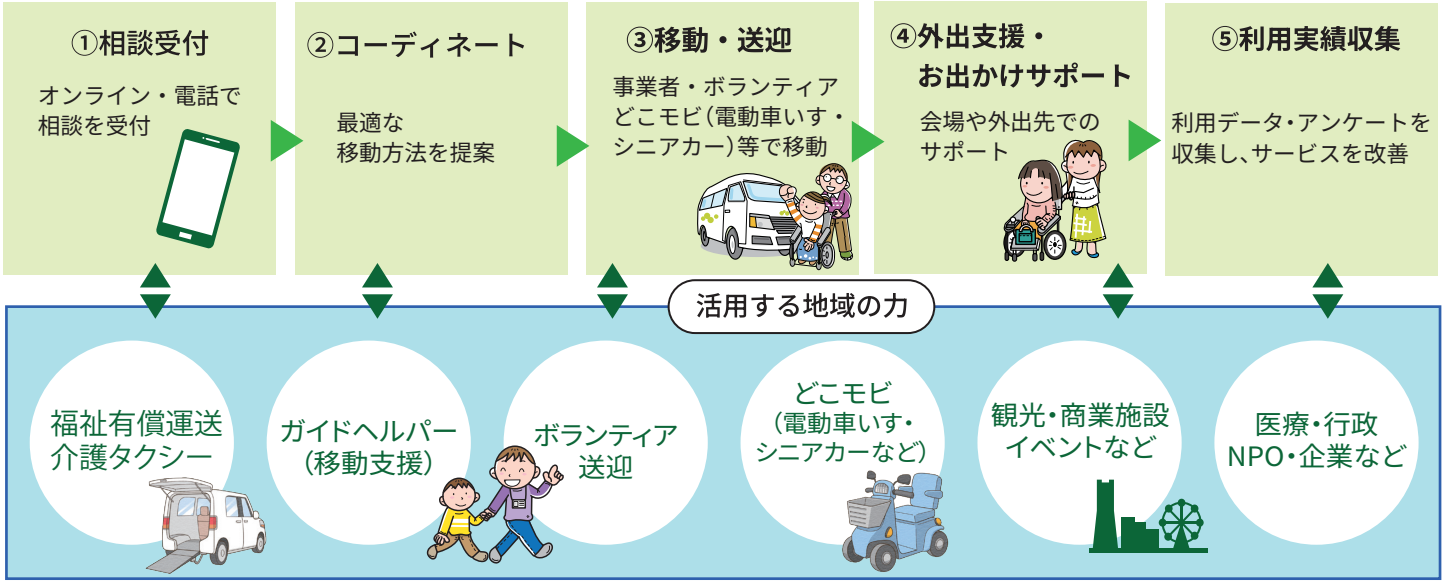
詳細・応援はこちら!→

ふるさとチョイス
プロジェクトページ

「車いすの友達と花博に行きたい」
「高齢の両親と、花博のあとに横浜で食事と夜景を楽しみたい」

でも、どうやって行けばいいか分からない。そんな理由で外出をあきらめる方を一人でも減らしたい。2000 年から横浜で外出支援を続けてきた私たちが、神奈川県からの声がけを受けて、GREEN×EXPO 2027 で「行けない」を「行ける」に変える仕組みをつくります。介護タクシー、ガイド、電動車いす、旅行の手配までを一つの相談窓口でつなぎ、会期後も神奈川に残します。

参加型移動支援プラットフォーム運用イメージ図



＜ご寄付はこんな取り組みに使います＞

- 外出ニーズ調査
- 移動情報の収集
- 相談・予約の仕組み作り

- コーディネーター人件費
- どこモビの受け渡しと物流費用（配送・保管・返却）
- 人材育成

継続のための
- 周知、記録
- 報告書の作成

いつでも、どこでも、誰とでも
認定 NPO 法人横浜移動サービス協議会

〒231-0033 横浜市中区長者町 8-125PLATS 関内長者町 5 階
TEL 045-212-2863　平日 10 時～ 17 時
ホームページ　https://yokohama-ido.jp/

スマホからはこちら→

あきらめていた外出を、もう一度。GREEN×EXPO から始まる移動支援

「行きたい」を、移動の不安であきらめないために

高齢や障害がある方にとって、外出の壁は段差だけではありません。「どの交通手段を使えばよいかわからない」「乗り換えが難しい」「付き添ってくれる人がいない」など、情報や支援がつながっていないことも大きな壁です。私たちは長年のお出かけ相談や移動支援を通じて、行き先より先に “行き方” であきらめてしまう声に接してきました。GREEN×EXPO2027 を、誰もが出かけることをあきらめない仕組みづくりの入口にします。

相談から外出まで、地域の力をつなぎます

まず、外出が難しい方へのアンケートやヒアリングを行い、「どこへ行きたいか」「何が外出の壁になっているか」を把握します。

同時に、介護タクシー、福祉有償運送、ガイドヘルパー、ボランティア、電動車いす等の移動支援情報を集約し、WEB相談・予約の仕組みを整え、相談内容に応じて複数の支援手段を組み合わせます。

GREEN×EXPO 会期中は、相談受付から移動方法の提案、当会のネットワークや介護タクシー配車アプリ等を活用し、送迎・外出支援までをつなぎ、実際の利用を通して終了後にも残る仕組みを磨いていきます。

花博を「ゴール」ではなく、その先へ出かける入口に

花博（GREEN×EXPO）への一度の来場で終わらせず、「次は海を見たい」「家族と観光したい」「イベントに参加したい」という次のお出かけにつなげます。私たちはこれまで、お出かけ便利帳の発行、外出企画、介護タクシーの配車、ガイドヘルパーやボランティアの養成などを積み重ねてきました。その経験と地域の事業者・団体をつなぎ、花博で得られた相談や利用データを蓄積。観光、文化、スポーツ、地域イベントなどにも活用できる持続的な移動支援ネットワークへ育てます。

目指すのは、移動に困ったとき「ここに相談すれば、行く方法が見つかる」と思える地域です。移動手段だけでなく、外出先の情報、付き添い、電動モビリティなどを一体的につなぎ、本人の「行きたい」を起点に支援します。

GREEN×EXPO2027 で実践した仕組みを、会期後も神奈川県内の観光、文化、スポーツ、日常の外出へ展開。移動支援事業者、NPO、ボランティア、企業等がつながるコンソーシアムを育て、誰もが社会参加をあきらめない「かながわユニバーサルモビリティ」のモデル化を目指します。

【プロジェクト進行スケジュール】

会期前（1～2月）	GREEN×EXPO会期中（3/19～9/26）	会期後（9月以降）	神奈川モデルとして地域へ
準備・基盤づくり	実践・運用	検証・継続・展開	

会期前（1～2月）準備・基盤づくり
- ①外出ニーズ調査
- ②情報収集・整理
- ③システム整備
- ④協力団体募集・掲載準備

GREEN×EXPO会期中（3/19～9/26）実践・運用

参加型移動支援プラットフォームの運用
- ①受付相談
- ②移動方法の提案（コーディネート）
- ③移動・送迎
- ④外出支援・お出かけサポート
- ⑤利用実績収集

会期後（9月以降）検証・継続・展開
- ①効果検証・データ分析
- ②報告書作成・発信
- ③コンソーシアム継続・仕組みの定着
- ④神奈川県モデルとして地域へ横展開

花博のあとにも残る、かながわの移動支援モデルへ

目指すのは、移動に困ったとき「ここに相談すれば、行く方法が見つかる」と思える地域です。移動手段だけでなく、外出先の情報、付き添い、電動モビリティなどを一体的につなぎ、本人の「行きたい」を起点に支援します。GREEN×EXPO2027 で実践した仕組みを、会期後も神奈川県内の観光、文化、スポーツ、日常の外出へ展開。移動支援事業者、NPO、ボランティア、企業等がつながるコンソーシアムを育て、誰もが社会参加をあきらめない「かながわユニバーサルモビリティ」のモデル化を目指します。

詳細・応援はこちら！↓

誰もがあきらめずに出かけられる社会の実現を目指します！！

相談すれば行き方が見つかる ▶ つながることで選べる移動が増える ▶ 行きたい場所に行ける喜びを取り戻す ▶ 移動の先にあるつながり・交流・生きがい ▶ 持続可能な移動支援ネットワークを神奈川県に残し、広げていく